

ぼくたちがわたしたちの



「将来何になりたい?」と聞かれて「別にない…」と答えてしまうそのキミ。ぜひこのコーナーを読んで下さい。キミが将来やりたいことが見えてくるかもしれません。今回紹介するのは、「経済学」です。

分野の特徴

◎現代社会を支える経済原理を、理論的に研究する経済学は、モノやサービスを交換するしくみである「経済」を研究する学問です。

私たち現代人の生活は、「生産→流通→消費」という経済の大きなサイクルによって支えられています。もともと物資の大半を自分たちで生産し、余った生産物を交換していた人間は、やがてお金を介した「交易」を発展させました。売るためのモノ⇨商品の生産と流通が、大きく発展したのは、近代以降です。新大陸の発見でたくさんの新しい《モノ》が西洋に持ち込まれ、同時に新大陸に暮らす移民たちが新しい《市場》をつくったわけです。現代日本で暮らす私たちは、衣食住や趣味、学習に使うモノ、交通や各種のサービスなど、日常生活を営むためのすべてを、経済のサイクルを利用して入手しています。

経済学は、このようにネットワークや交通の発達により地球規模でつながれた現代社会の複雑な経済現象を分析し、新しい理論体系を打ち立てることをめざしたアカデミックな学問といえます。

◎現実経済のダイナミズムを数理モデルによって解明

経済は、常に政治や社会現象から大きな影響を受け、周期的に好況と不況の波を繰り返しています。現在では、世界のどこかで起きた出来事の影響が世界中に波及し、各地で大きな潮流を生み出して、経済危機や大恐慌につながることもまれではありません。

そこで、複雑な経済現象の解明には、歴史や政治、国際関係など、社会を構成するあらゆる要素を考慮する必要があります。こうした経済現象と個別要素の分析から原理となる「モデル」を導き、これを用いて実体経済の分析を行うのがオーソドックスな経済学的手法です。最近ではコンピュータを用いたシミュレーションもよく用いられます。



何を学ぶ?

◎経済のダイナミズムを二つの基本原理から理解する

経済学では、最初に《ミクロ経済学》《マクロ経済学》という経済研究の基本領域(原理)を理解する必要があります。ミクロ経済学では、市場におけるモノの価値(価格)を決定する原理、効率的に利潤追求を行う企業の活動、家計と消費活動など、個々の経済活動について主として扱います。マクロ経済学は、景気の調整や公共政策など、政府や行政の市場への介入、国民所得の成り立ち、外国為替や金利の問題など、国の規模での経済活動や現象を分析する分野です。

この二つの基本原理を土台に、国際経済の側面、政策の側面、企業の組織や雇用・労働の側面、さらに経済史のジャンルなど、経済活動のさまざまな項目を幅広く学びます。これらの学習を通じ、日本の経済の特徴はなにか、世界の経済社会ではどんな現象が起きているのかといった多角的な視点から経済を捉え、経済はどんなしくみで動くのか、というメカニズムを理解していきます。

◎《経済》の視点から、現代社会の諸問題解決に取り組む

経済学の目標は、社会生活の効率を追求しながら、富を公平に分配することであり、経済学ではそのための条件を追究し、未来の社会、産業、人間生活のあるべき姿を予測することを大きな研究課題としています。したがって、経済動向を示す指標やデータを読み解く能力、データを自由に駆使して現実の経済現象を正確に

分析し、将来を見通す洞察力が重視されます。そのための強化ツールとして、数学を基礎とした「統計学」「計量経済学」などの重要科目があり、必修科目としてのケースが大半です。

これらの学識のうえに立って、現代社会が抱える諸問題に対して、経済学的な視点の分析を行います。具体的には、景気変動や財政、住宅や交通、年金や医療問題など国の政策や私たちの生活に関わるもの、さらには先進国と発展途上国の経済格差、環境破壊など国際的なテーマもあります。

学問トレンド

◎情報・国際をキーワードに経済を分析する学問も

最近の経済学では、マクロ・ミクロの基礎理論を踏まえ「市場の効率性と分配の公平性」という、市場経済本来の目標を実現するための条件を実践的に探究する領域がより重要視されています。伝統的な「経済学」のほか、現代の新しい視点を導入する「現代経済学」「応用経済学」といった学問があります。この領域では、経済現象にとどまらず、将来の産業や社会、人間生活といったビジョンを描くことが目的となります。

また、《情報》を重視する「経済情報学」「経済情報システム学」といった学問群では、経済動向を示す指標やデータを分析し、正しく解釈できる能力、そのデータ分析から実際の経済現象の状態を判断できる力、さらに、現状から将来を見通す洞察力を養います。

(参考: 大学逆引き辞典 <http://www.gyakudiki.net/>)

この職業を探せ!

第10号の正解は、宅配便ドライバーでした。22教室に貼ってある「13歳のハローワークマップ」の中から、次のヒントに合う職業を探してね。
ヒント1 会社に入社後、教習所で訓練を受ける。

ヒント2 訓練後、国家資格の運転免許を取得する。
ヒント3 集中力、注意力、トラブル発生時の判断力が必要で、心身のバランスのとれた人間であることが大切。

(参考: 13歳のハローワーク公式サイト)

ポスターぶんぽう

今回はクイズを出しますね。問題です。次のような特徴を持つ文房具は何でしょうか。

- 1 ちぎれる(和紙できていて、はさみやカッターがなくても手でちぎることができる。)
- 2 はがせる(粘着力が抑えてあるので貼り直しがかんたんにできる。)
- 3 透ける(薄い色のものなら下地がほんのり透けてカラージュに最適。)
- 4 書ける(文字を書き込めるので、ラベルやインデックスの代わりに使える。)
- 5 色柄いろいろ(色も柄もさまざまなデザインがある。)

分かりましたか? 正解は、「マスキングテープ」です。もともととは、ペンキ塗りをするときペンキがはみ出さないようにするための道具です。でも、最近はその特徴から、コラージュ(写真や印刷物などを貼り付けてデザインするもの)にぴったりということ、箱やノートの表紙に貼ったり、室内装飾に使ったり、いろいろなどころで見かけます。



我が家でも、あちらこちらにペタペタはって楽しんでますよ。

いやあ、文房具って、楽しいですね。(手島)

